

感染症対策再確認

嘔吐・下痢時の感染対策

【基本原則】

1手技1手洗い（1ケア1手洗い）を徹底する

【なぜ重要か】

- ノロウイルス等のごく少量で感染
- 手を介して施設内に一気に拡大する
- アルコールは効きにくく、石けんと流水が最優先

【必ず手洗いするタイミング】

- 利用者1人のケアが終わったら
- オムツ交換・トイレ介助の後
- 嘔吐物・排泄物・汚染物を触った後
- 手袋を外した後
- 次の利用者に触る前

【手袋のルール】

- 手袋＝手洗いの代わりにはならない
- 外したら必ず手洗い

【正しい手洗い】

- 石けん＋流水
- 30秒以上
- 指の間・爪・手首まで

【現場の合言葉】

「1人1手洗い」

「手袋外したら、まず手洗い」

「感染を止めるのは“手”」

日頃からの手洗い、消毒よろしくをお願いします

正しい手の洗い方

手洗いの前に

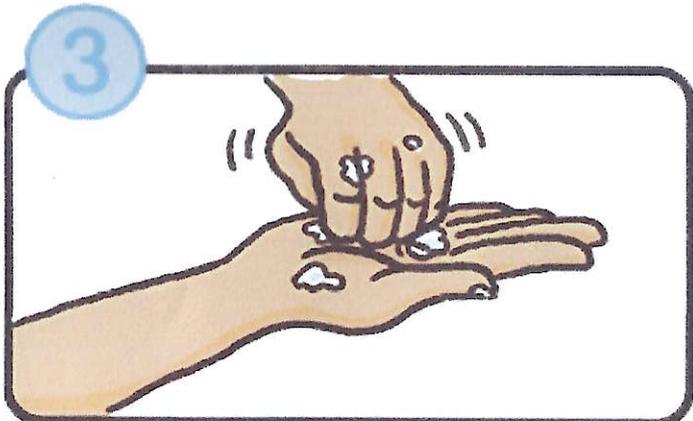
- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をめらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



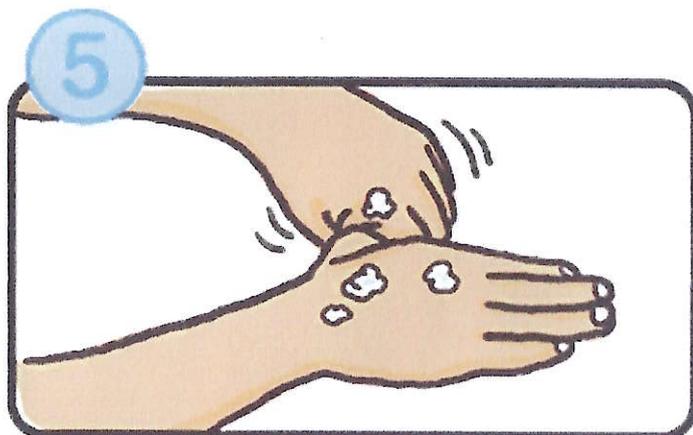
手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。